

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020 年 6 月 2 日作成 第 1.0 版

研究課題名	慢性偽性腸閉塞症の成因別の臨床的特徴の違いを抽出する単施設後ろ向き観察研究
研究の対象	2011 年 4 月～研究開始日前まで当院で慢性偽性腸閉塞症に対して診療を受けられた方
研究目的 ・方法	慢性偽性腸閉塞症（CIPO）は、長年にわたって腸閉塞症状を患う難病です。しかし非常に稀な病気であり、どんな病気がおおもとにあるのか、どんな治療法が有効なのか、またどんな臨床経過をたどるのか、ということがほとんど明らかになっていません。実際の臨床現場では、エビデンス（科学的な根拠）に乏しい対症治療を個々の患者さん毎に行っているのが現状です。このため、エビデンスに基づく治療法を確立することが急務です。当院は、本疾患の専門病院として全国から患者さんを受け入れ、特に成人領域においては日本一の診療規模を誇っています。このため、まずはこれまでの患者さんの診療データを解析し、原因となる基礎疾患、有効であった治療法、臨床経過を明らかにする必要があります。本研究で得られる結果は、今後の臨床現場において個々の患者さんにより適した治療法を提供することに貢献するすると考えられます。また、将来的な前向き検証試験の手がかりとなり、治療法が限られている本疾患の新規治療法のエビデンス創出に役立つと考えられます。
研究期間	西暦 2020 年 6 月 24 日 ～ 西暦 2020 年 10 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	以下の情報を診療録から収集します。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者基本情報：年齢（発症時、診断時、受診時）、性別、身長、体重、既往歴（膠原病、内分泌疾患、神経疾患、その他）、腹部手術歴 2) 血液検査所見（血清アルブミン濃度 g/dl） 3) 腹部 CT（拡張腸管の部位） 4) シネ MRI（動画 MRI）；平均腸管径、収縮率、収縮周期 5) 治療内容（投与薬剤、腸管減圧方法、栄養療法の方法、腸内滅菌療法の有無） 6) 有害事象 7) 転帰

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病科 （研究責任者）大久保 秀則

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-784-3546